

発寒小学校のあゆみ

【大正】

大正11年10月 発寒小学校開校

【昭和】

3年10月 発寒小学校の校旗ができる
12月 発寒小学校に電灯がつく
11年 4月 発寒小学校保護者会ができる
16年 4月 発寒国民学校と校名変更
21年 4月 保護者会を解散し、発寒小学校PTA(父母と先生の会)ができる
22年 4月 六・三制が施行され、発寒小学校と校名変更
24年10月 発寒小学校校歌ができる
26年11月 新校舎が完成し、PTAよりピアノが寄贈される
27年10月 開校30周年式典開催
30年 2月 琴似町が札幌市と合併し札幌市立発寒小学校となる
35年10月 完全給食が始まる
37年10月 開校40周年記念式典開催
39年10月 新体育館が完成する
42年12月 発寒西小学校が新設され509名が移籍する
43年 7月 養護学級が開設される
45年12月 発寒南小学校が新設され329名が移籍する
47年10月 開校50周年記念式典開催
49年 3月 発寒東小学校が新設され410名が移籍する
52年 2月 校舎改築第1期工事竣工
55年 1月 校舎改築第2期工事竣工
56年 1月 校木を「くるみ」に改定する
57年 3月 校舎改築第3期工事竣工
10月 開校60周年・校舎改築落成記念式典開催
58年10月 開校60周年記念教育実践発表会開催
60年12月 校舎改築第4期工事竣工
61年 1月 本校舎完成を祝う会開催
62年 7月 プール完成式

【平成】

2年 2月 新体育館が完成
3年 4月 学校開放事業が始まる
4年10月 開校70周年記念式典開催
5年 4月 学校図書館開放校となる
7月 開校70周年記念教育実践発表会開催
6年 4月 札幌市福祉協力指定校となる
11年 1月 コンピュータ室完成
13年 8月 遠隔操作錠スクールオートロック新設
10月 開校80周年記念教育実践発表会開催
12月 開校80周年を祝う会開催
14年 4月 完全学校週5日制実施
15年10月 さくら図書館10周年
ミニ児童会館開館
17年12月 西区P連交通安全作文コンクール学校賞受賞
18年 6月 全校一斉朝読書始まる
7月 なわとびチャレンジ始まる
19年 8月 コンピュータ室機器更新
20年 9月 校務用コンピュータLAN設置
22年12月 席書大会で優秀校賞を受賞
23年10月 開校90周年記念式典・祝う会開催
24年10月 開校90周年記念教育実践発表会開催
25年 2月 さくら図書館20周年
25年 6月 トラック協会交通安全教室開催
25年11月 校舎耐震工事、ソーラーパネル設置
26年11月 第2音楽室・はっさる一む完成
27年 6月 サタデースクール開始
27年10月 3・4階トイレ、屋上防水改修
28年10月 1・2階トイレ、廊下改修
29年 3月 発寒小学校ファンクラブ結成
29年10月 日常実践発表会実施
30年 2月 土曜寺子屋実施

【令和】

元年12月 教師指導、児童学習用タブレット端末導入開始



令和元年度 学校要覧



札幌市立発寒小学校

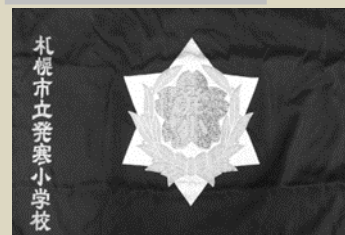
〒063-0830
札幌市西区発寒10条4丁目1番62号
TEL (011)661-2521
FAX (011)661-9457
ホームページ
<http://www.hassamu-e.sapporo-c.ed.jp/>

発寒小学校
ファンクラブ公認キャラクター
くるみん



【校章のこころ】

サクラに『發』の字を入れ、そのまわりを月桂樹(勝利と栄冠を表す)の葉で囲んだ。サクラは、日本の代表の花、發は、開くということで屯田兵を、また、サクラドリが多く住む所という発寒の地名を表す。校章の図案は、昭和3年、青年団の人々によって作られた。昭和11年に一部を改定。昭和26年には、まわりを六角の雪の結晶に改め、北方開拓の精神と、自主、健康の意味が加えられた。



【校旗】

昭和3年、三谷源太郎さんから、朱色に校章を配した校旗を寄贈していただいた。昭和37年、開校40周年を記念に、沼田善太郎さんから、地が深緑色の校旗を寄贈していただいた。

(現在の校旗)



【校木 くるみ(昭和56年改定)】

発寒小学校の教育

学校教育目標

- 1 生命や人格を尊重する子ども
- 2 勤労を尊重し、科学的合理的に生活する子ども
- 3 個性を生かし、創造性豊かに学び取る子ども
- 4 調和のとれた健康な体と強い意志をもつ子ども
- 5 美しさとやさしさがわかる豊かな情操をもつ子ども



校長 北本 雅人

未来を拓く発寒の子

- は** はーと あたたく [思いやる心]
つ つよく たくましく [生き抜く力]
さ さらに みがこう [進取の姿勢]
む むつむ なかまたち [自立と共生]

守る教育 攻める教育

発寒100年を目指して

こどもを守る

- ・健康教育・安全教育
- ・食育・体力増進

学校・職員を守る

- ・学校組織の整備
- ・外部連携と対応

保護者・地域を守る

- ・家庭への支援体制
- ・関係機関と共に

子どもの力を伸ばす

- ◇心の教育◇社会規範◇特別支援教育
- ◇授業改善◇研究◇教育課程の整備

やり甲斐・生き甲斐のある職場

- ◇学校評価◇メンタルヘルス
- ◇職員面談◇研究、研修

地域と共に発展する学校

- ◇PTA、地域、関係機関との連携
- ◇外部講師◇サタデースクール

発寒小の特色ある教育

学ぶ力の育成



研究主題「学ぶ意欲にあふれ、自ら関わる子の育成」とし、授業実践を進めています。また、家庭での学習を見直し、基礎基本の定着を目指しています。

豊かな心の育成



Q-U 調査を行い、子どもの豊かな心が育まれるよう学級経営を行っています。さくら図書館では、ボランティアの方が読み聞かせを行ってくれています。

健やかな体の育成



なわとびを通して、自分の伸びに気づき、運動の楽しさを感じられるようにしています。「札幌市『目指せ！なわとび』マイプロジェクト」にも参画しています。

学習サポート・地域教育力



ハツキタ商店街の皆さんの力を借りて、スノーキャンドルをつくります。夜の街並みに彩りを添えます。



外部人材を活用し、多くの目で子どもたちを育てます。たくさんの声かけが、子どもたちの自信につながります。



サタデースクール事業に参加しています。年間6回の活動を通して、普段の生活ではなかなか味わえない楽しさを感じて学んでいます。写真左は「サタデースクールほくまち」。専門の指導者が来て、自転車の安全な乗り方の指導を受けました。



教職員と学級編成

年 組	児童数	担 任	年 組	児童数	担 任
1	1 26名	吉村由実子	4	1 37名	武田 恵三
	2 25名	田中 園美		2 39名	鈴木 結以
	3 26名	浦川奈菜子	5	1 28名	山口 耕昌
2	1 32名	後藤 久恵		2 28名	石川 恭子
	2 31名	村上 祐子	6	1 36名	山口 麻希
3	1 32名	今井 理香		2 37名	五十嵐広志
	2 32名	多田 雅恵	くるみ 1・2年	12名	櫻井 結
	3 30名	奥井 光			榎川 詩央
くるみ 3・4年	11名	川口 公恵 伊藤由香子	くるみ 5・6年	13名	渡邊 佳奈 藤井 静恵 名畑 康之

令和元年 11 月 18 日現在 学級数 18 学級 児童数 502 名

学 校 長	北本 雅人	特別支援教育	
教 頭	牧野 理恵	コーディネーター	
教 務 主 任	畑 彰範	榎川 詩央	
保 健 主 事	山崎 奈美	畑 彰範	
T.T 指導担当	木内 成人	鈴木みさき	
	鈴木 紀子	学びのサポーター	
養 護 教 諭	鈴木みさき	吉田 重義	
栄 養 教 諭	大塚 弥生	宮下 義正	
事 務 主 任	浅野 保之	南條みゆき	
用 務 員	立川 智	スクールカウンセラー	
校 務 助 手	長皆恵美子	相場 史生	
にーごー担当	鈴木 紀子	育児休業	
初任者講師	木内 成人	白川部友紀	
学校調理員	民間 事業	坂根 祥子	
司 書 教 諭	山口 耕昌	町村あゆみ	

開かれた学校

学校関係者評価委員会

〈令和元年度 学校関係者評価委員〉

文京町内会 会長
横谷 文夫 氏

発寒北まちづくりセンター 所長
山本 祥一 氏

発寒小同窓会 会長
大浦 明 氏

あづま幼稚園 園長
大西 ミヨ 氏

発寒北地区主任児童委員
中村 淳 氏

発寒小ミニ児童会館 館長
下河原 歩 氏

発寒小PTA 会長
村松 良太 氏

PTA活動

〈PTA 活動方針〉

～PTA 全会員が、できるときに、できることを～
子どもたちのために、きっとあなたにもできる活動がある。



PTA 会長
村松 良太

〈令和元年度 PTA 役員〉

会 長 村松 良太
副会長 見澤明裕美
副会長 佐藤百合子
副会長 川崎 郁代
副会長 牧野 理恵：教頭
会 計 岩井さゆり

顧 問 北本 雅人：校長
書 記 長谷川麻美
書 記 佐々木典子
書 記 上澤田香奈
書 記 山崎 奈美：教諭
監 査 松田 真樹
監 査 金田 清一

さくら図書館（地域開放図書館）

日常的な本の貸出業務のほかに、読み聞かせや図書館利用指導など子どもたちの読書活動を支援してくれています。

◇図書班 ◇美化班 ◇読み聞かせ班 ◇広報班

子どもたちに向けた主な活動

□1年生を迎える会 □図書館利用指導 □さくらタイム
□さくらスペシャル □さくらお楽しみ会 □一日司書体験

